

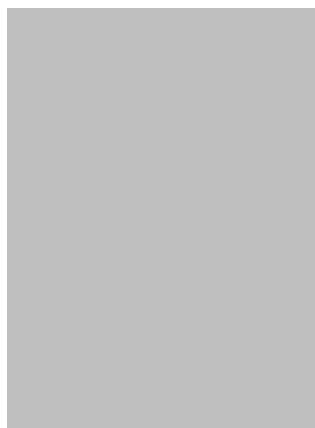


2021.4-2031.3

協働・共創
持続可能な
クリエイティブ
シティをめざす

門真市
文化芸術
推進基本計画(案)

2026.3 中間見直し版



門真市長 宮本 一孝

市長あいさつ

門真市立文化芸術推進基本計画

【中間見直し版】

目 次

第Ⅰ章 はじめに

1. 中間見直しの趣旨について …… ●
2. 計画策定後の主な動向 …… ●

第Ⅱ章 文化芸術の現状と課題

1. 市民アンケート調査結果(抜粋) …… ●
2. 施策や事業の実施状況について…… ●
3. 取り組むべき課題について…… ●

第Ⅲ章 施策の展開

1. 計画の視点と体系…… ●
2. 基本方針…… ●
3. 具体的な施策の例…… ●
4. 計画の進行・管理…… ●

第Ⅳ章 資料編

1. 中間見直し過程…… ●
2. 審議会・庁内検討委員会名簿…… ●
3. 諮問・答申書…… ●

第I章 はじめに



1. 中間見直しの趣旨について

本市では、誰もが文化芸術を身近にふれることができ、文化芸術があふれるまちの実現のために、「協働・共創」をキーコンセプトとした門真市文化芸術推進基本計画（以下、「本計画」という。）を、令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間の計画として策定しました。

今回の中間見直しは、計画策定から5年が経過することから、この5年間での文化芸術に関する取り組みを振り返り、社会状況や文化芸術を取り巻く環境の変化に応じ、今後の取り組みをより良いものにするため、中間見直しを行います。

2. 計画策定後の主な動向

作 成 中

第Ⅱ章

文化芸術の現状と課題

2

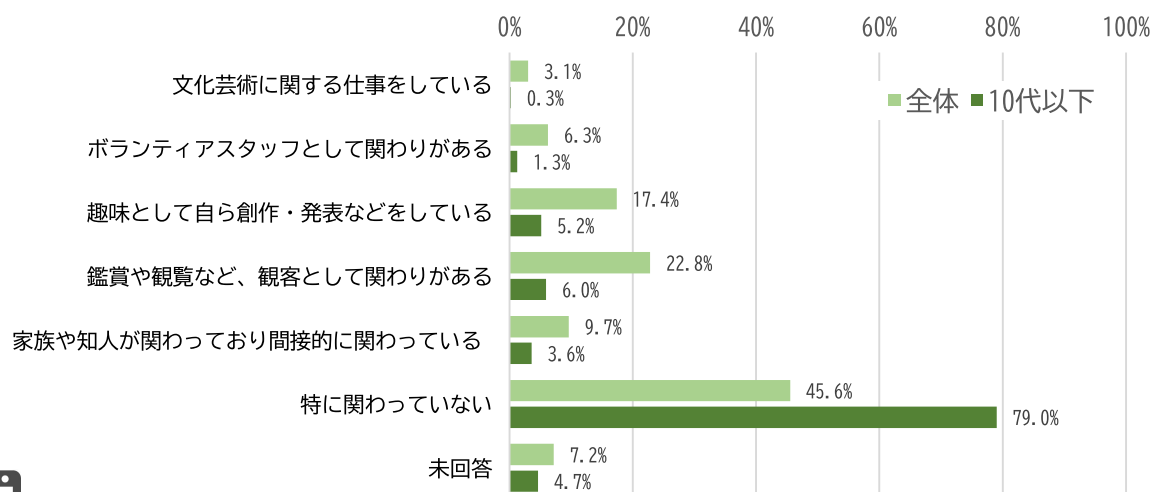
1. 市民アンケート調査結果(抜粋)

市民等の文化芸術に対する考え方や関わり方、課題などを把握するため、アンケート調査を実施しました。調査結果を踏まえ、本市の特性がわかるものなどを記載します。

◆ 調査の概要

調査対象 及び 調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設（※１）利用者に対し、調査票の配付、紙調査票による回収 ・ 市内の高校３年生に対し、調査票を配付、紙調査票による回収 ・ 広報かどまQRコードを掲載し、WEBによる回収 ・ 市公式LINE登録者に対し、アンケート調査を周知し、WEBによる回収 ・ 市職員に対し、アンケート調査を周知し、WEBによる回収
実施期間	令和７年６月２０日 から 令和７年７月３１日まで
回収結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効回収数 ２,０７９件 ・ 公共施設利用者 １,２１７件 （※１：ルミエールホール、市民プラザ、公民館利用者 ９５８件、市内高齢者施設 ２５９件） ・ 市内の高校３年生 ３０７件 ・ 広報かどま及び市公式LINEを通じた回答 ２４５件 ・ 市職員 ３１０件

問５ 現在、どのような形で文化芸術活動に関わっていますか。(複数回答可)



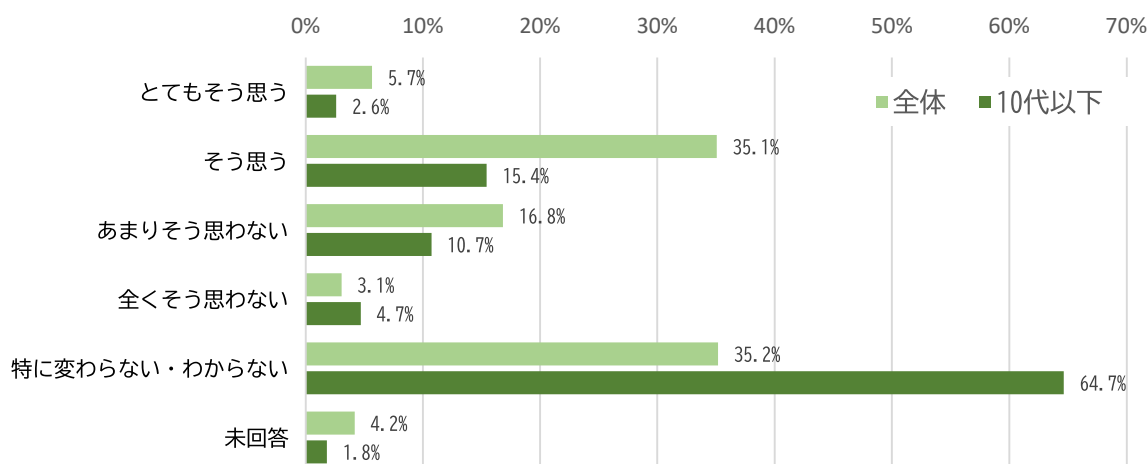
文化芸術活動に「特に関わっていない」が45.6%で最も高く、次いで「鑑賞や観覧など、観客として関わりがある」が22.8%、「趣味として自ら創作・発表などを行っている」が17.4%となっています。

また、10代以下で文化芸術活動に「特に関わっていない」と回答した割合が79.0%と非常に高くなっています。

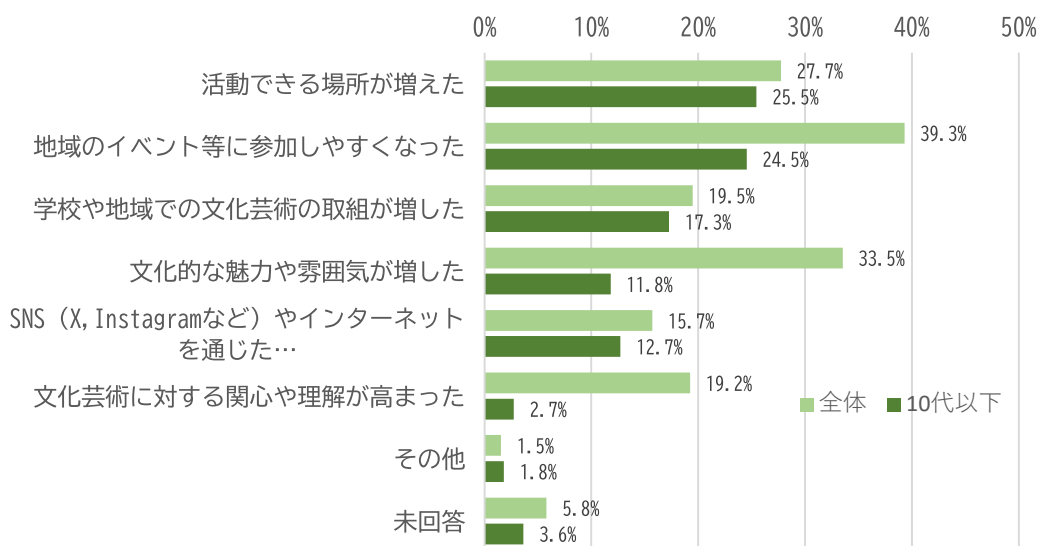
市民アンケート調査結果(抜粋)

◆「門真市の文化芸術活動」について

問6 この5年間で、門真市の文化芸術活動は活発になったと思いますか。



問7 問6で「とてもそう思う」、「そう思う」を選択された方にお伺いします。この5年間で、門真市における文化芸術活動を取りまく環境において、あなたが実感している変化をお教えてください。(複数回答可)

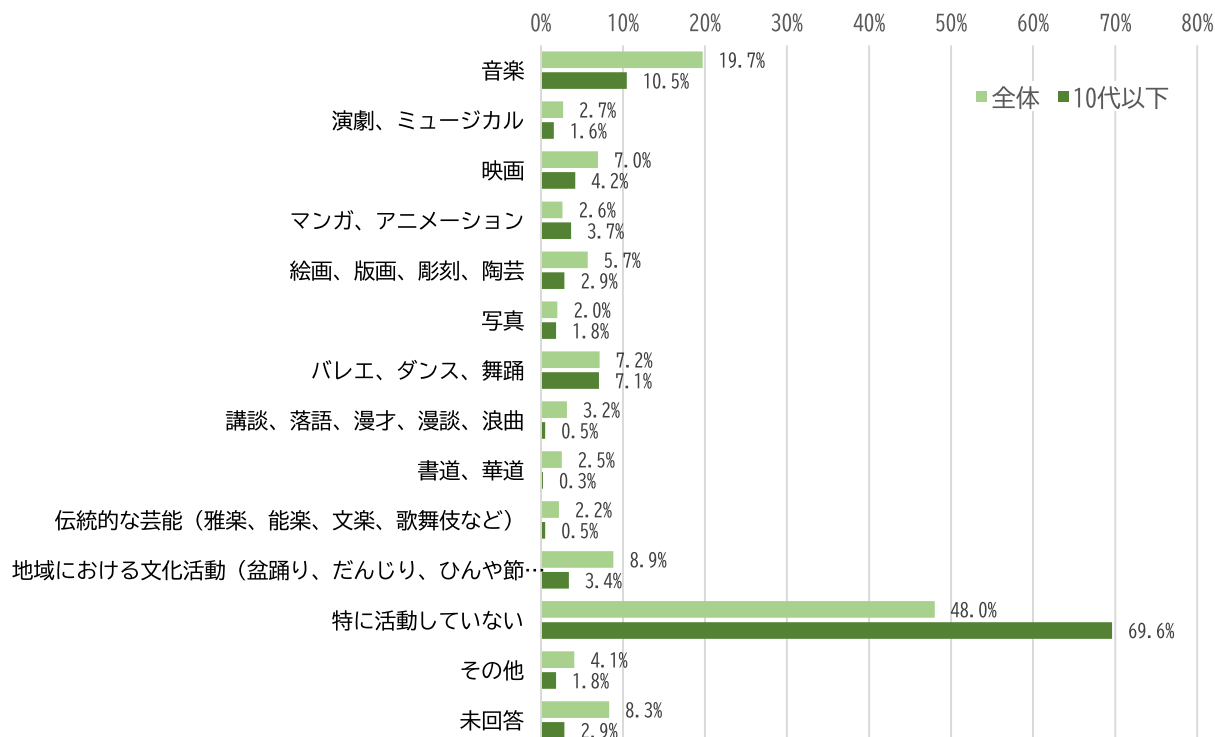


この5年間で、門真市の文化芸術活動が「活発になった」と答えた人が約40%となっています。「活発になった」と答えた人が実感している変化として、「地域のイベント等に参加しやすくなった」が39.3%で最も高く、次いで「文化的な魅力や雰囲気が増した」が33.5%となっています。

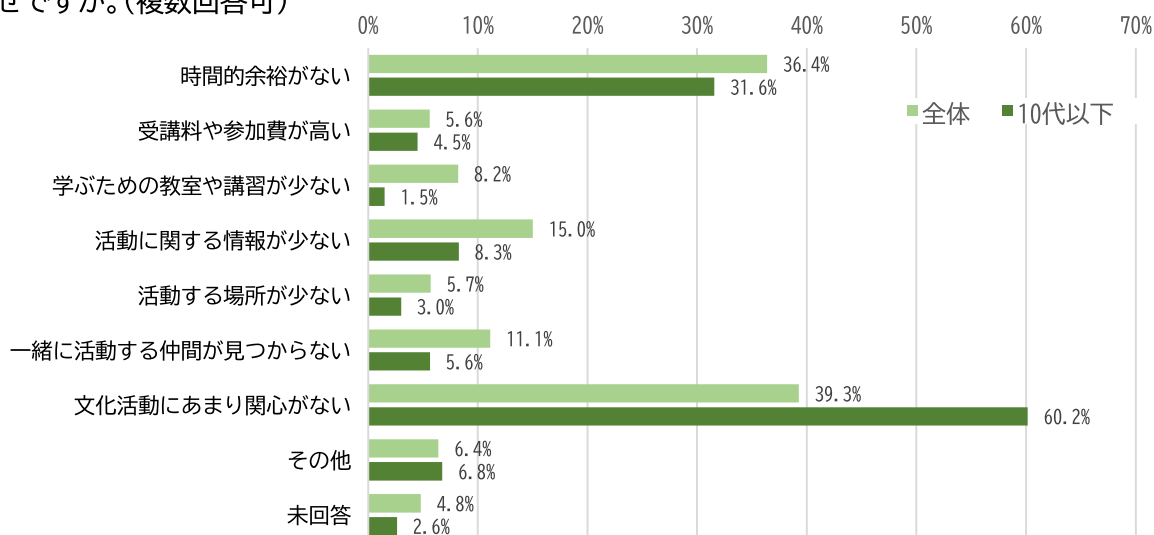
市民アンケート調査結果(抜粋)

◆ 文化芸術の「活動」について

問9 あなたはこの1年間にどのような文化芸術の分野で活動されましたか。(複数回答可)



問11 問9で「特に活動していない」を選択された方にお伺いします。文化芸術の活動をされなかったのはなぜですか。(複数回答可)



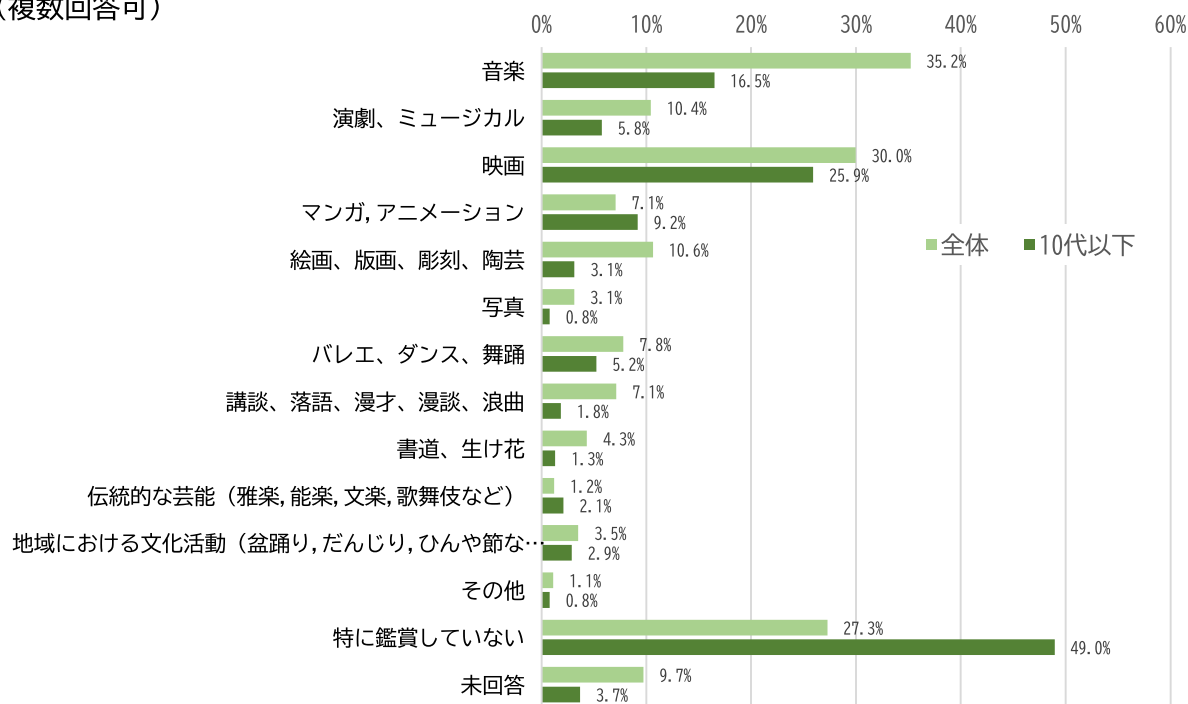
問9のこの1年間の文化芸術分野の「活動」状況について「特に活動していない」が48.0%で最も高く、次いで「音楽」が19.7%、「地域における文化活動(盆踊り、だんじり、ひんや節など)」が8.9%となっています。

問9、問11の設問における10代以下の回答について、「特に活動していない(問9: 69.6%)」、「文化活動にあまり関心がない(問11: 60.2%)」と回答した割合が非常に高くなっています。

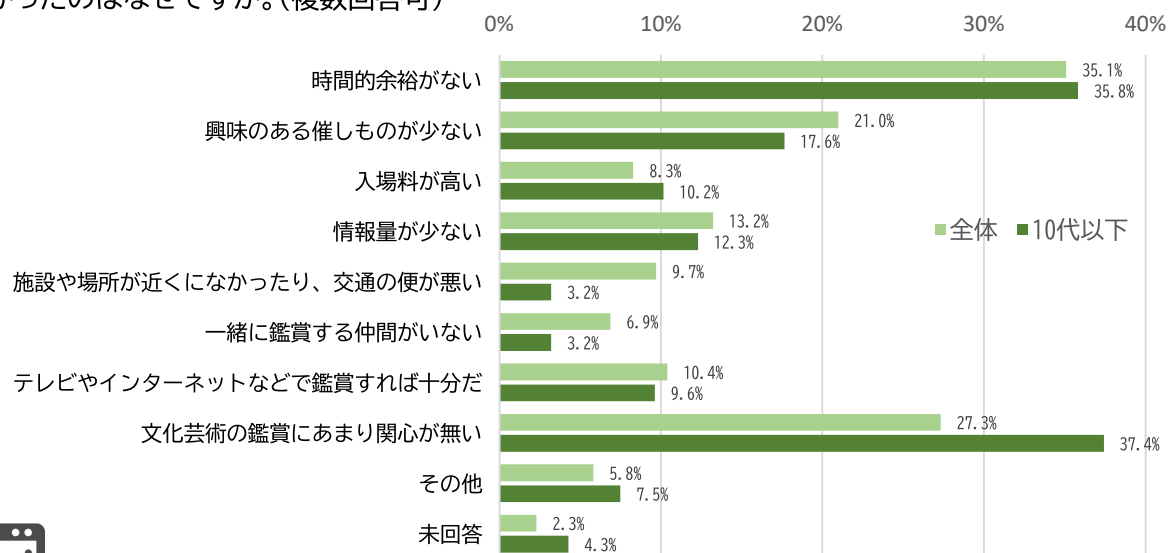
市民アンケート調査結果(抜粋)

◆ 文化芸術の「鑑賞」について

問13 あなたはこの1年間にホールや映画館などで鑑賞した文化芸術はどのような分野ですか。(複数回答可)



問14 問13で「特に鑑賞していない」を選択された方にお伺いします。文化芸術の鑑賞をされなかったのはなぜですか。(複数回答可)

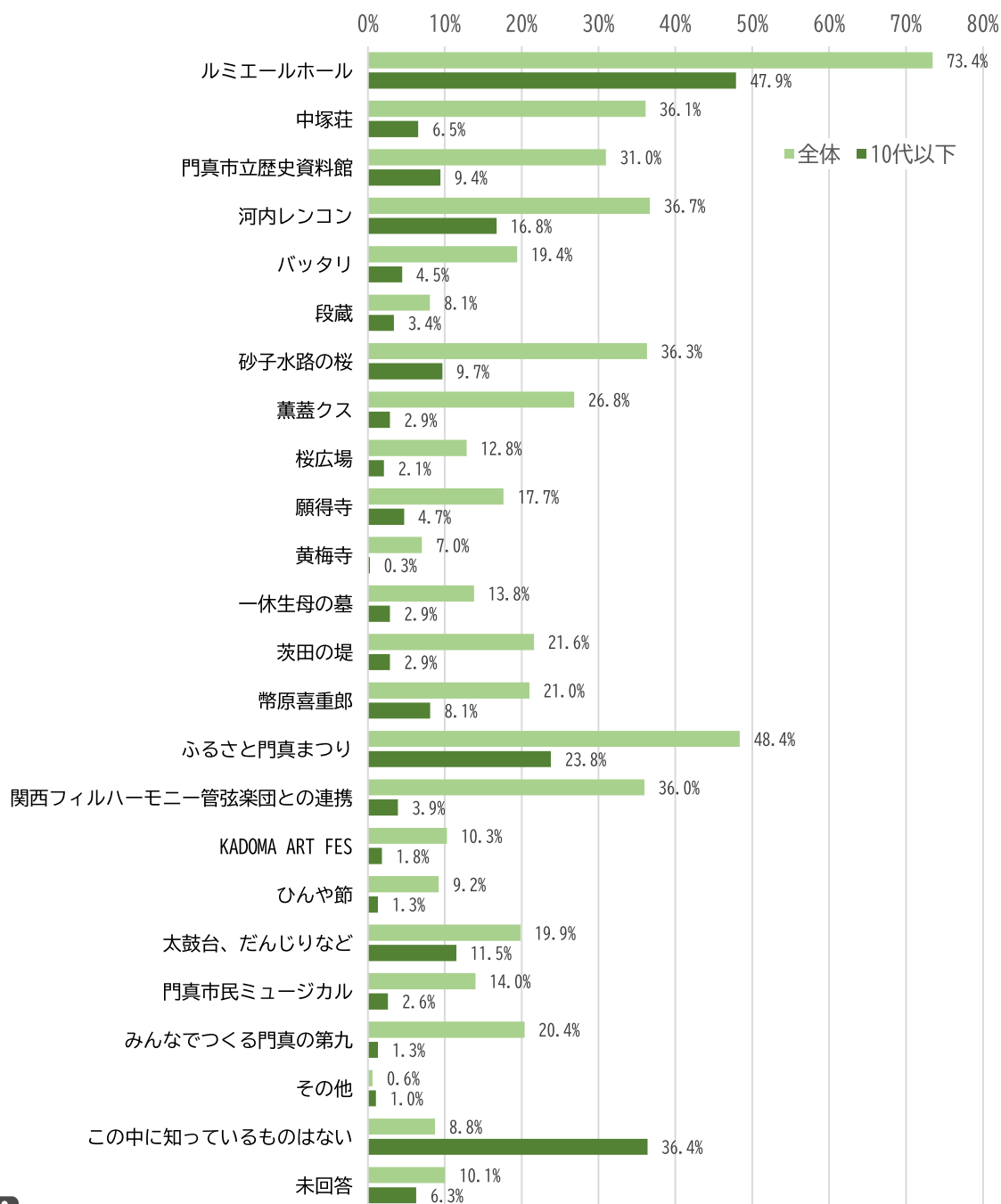


この1年間にホールや映画館などで「鑑賞」した文化芸術について、「音楽」が35.2%で最も高く、次いで「映画」が30.0%、「特に鑑賞していない」と答えた人が27.3%となっています。「特に鑑賞していない」と答えた理由として、「時間的余裕がない」が35.1%「文化芸術の鑑賞にあまり関心がない」が27.3%、「興味のある催しものが少ない」が21.0%となっています。

10代以下の問13「特に鑑賞していない」（49.0%）と問14「文化芸術の鑑賞にあまり関心がない」（37.4%）と回答した割合が非常に高くなっています。

市民アンケート調査結果(抜粋)

問17 門真市内の伝統文化、文化的資源、文化財(自然、歴史、祭り、建物など)、文化芸術にかかる取組について知っているものを教えてください。(複数回答可)



「ルミエールホール」の認知度が73.4%と最も高くなっています。次いで、「ふるさと門真まつり」48.4%、「河内レンコン」、「砂子水路の桜」、「中塚荘」、「関西フィルハーモニー管弦楽団との連携」が約35%となっています。

また、10代以下では「ルミエールホール」が47.9%で最も高いものの、「この中に知っているものはない」が36.4%となっており、門真市内の文化的資源等の認知度が低くなっています。

市民アンケート調査結果(抜粋)

◆ 自由記述回答

問18 門真市の文化芸術振興についてのお考えやアイデア等ご自由に意見をお聞かせください。

文化芸術にかかる環境整備について

- ・ 魅力的なコンテンツ（海外美術館の芸術作品展示や現代アート、没入型のデジタルアート）を地元で見たい。
- ・ 近隣の市と連携して幅広く音楽を聞ける機会を作してほしい。
- ・ 大道芸やストリートミュージック、ストリートピアノ等の自主的に参加できる場所を多く設けると良いと思う。
- ・ 高齢者への参加の促進してほしい。
- ・ 障がい児が文化芸術を知るために施設訪問してほしい。
- ・ 街なかや公共施設等で身近に文化、芸術に触れられる機会を増やしてほしい。

学習機会の創出について

- ・ 誰でも簡単に参加ができる発表の場がほしい。
- ・ 子どもが小学校の授業で砂子水路の桜などを歩いて回った。今後もそのような授業をしてほしい。
- ・ 小、中学校では門真市の芸術振興に触れる機会が多いが、高校からは機会が減っている。高校生にも門真市について知ってもらいたいと思う。

イベントの実施場所やアクセスについて

- ・ 南部でのイベントが少ない。
- ・ 活動場所が、古川橋駅から門真市駅方面に集中しているおり、バス路線の廃止などで更に文化にふれる機会が減った。

文化芸術活動への支援について

- ・ 一部の団体が優遇されており新しい試み（団体）が活躍しづらい印象を受けている。間口をもう少し広げてほしい。

その他

- ・ 関西フィルハーモニー管弦楽団がルミエールホールを拠点に活動していることを誇りに思う。
- ・ 門真市にゆかりのある有名人が大使になられたり、市内でコンサートを開催してくださることとで親しみを感じ、門真市が盛り上がっていることを嬉しく思います。

市民アンケート調査結果の総括について

◆ 誰もが気軽に参加できる環境づくり

市民アンケート回答者の約半数が、文化芸術活動に「特に関わっていない」、「特に活動していない」と回答しています。

また、60歳以上の回答者がホールや映画館などで文化芸術分野にかかる「鑑賞をしていない」理由として、「施設や場所が近くになかったり、交通の便が悪い」が回答者全体のデータと比較し、8.3%高くなる結果となりました。

南部地域におけるイベントやアウトリーチの実施、障がいを持っている人も含めた誰もが気軽に文化芸術活動を実施し、鑑賞できる環境づくりが重要です。

◆ 若年層にむけた取組の実施

市民アンケート調査の結果から、10代以下において文化芸術に関心がないと答えた人が多いこと、市内の文化的資源等の認知度が低いことから中学生音楽鑑賞会やアウトリーチコンサートを実施し、幼少期から10代にかけて文化芸術活動に触れたり、鑑賞する取組を継続するとともに、SNSを利用した積極的な発信を行うなど若年層にむけた取組を充実させる必要があります。

◆ 情報発信の充実

市民アンケート調査において、市の文化芸術活動が活発になっていないと答えた人の文化芸術活動を行っていない理由として、「文化活動にあまり関心がない」、「時間的余裕がない」に次いで、「活動に関する情報が少ない」が多く挙げられました。

また、関西フィルハーモニー管弦楽団との連携やKADOMADO、ルミエールホールなど門真市が有する文化芸術にかかるコンテンツの魅力を発信するための情報発信プラットフォームの構築するなど情報発信を充実させる必要があります。

2. 施策や事業の実施状況について

令和3(2021)年度から令和7(2024)年度までの期間において、施策展開に向けた基本方針の「4本の柱」に基づき様々な取組を行ってきました。

柱1 「市民の文化活動の活性化」

基本方針

- 市民（団体）の文化活動の支援
- 地域の文化活動の支援
- 身近な文化活動の促進
- 学校教育での文化芸術活動の推進

主な取組

- 大和田駅前広場を中心として、アートイベントやアート作品の展示を行う「KADOMA ART FES」の実施
- 関西フィルハーモニー管弦楽団による中学生音楽鑑賞会の実施
- 小学校4年生を対象としたプロの演奏家によるアウトリーチを実施
- 障がいのある方や高齢者の作品展「きらめきアートフェスタ」の開催
- 門真市伝統的民俗芸能「ひんや節」を門真市地域文化財第1号に指定

取組に対する評価を記載（作成中）



門真市伝統的民俗芸能 ひんや節



きらめきアートフェスタ

2. 施策や事業の実施状況について

柱2 魅力的な文化芸術活動の充実と文化的な資本の蓄積	
基本方針	
● 市民による多様な創造活動の支援	● 文化芸術活動のための資金調達の支援
● アーティストの門真での活動の促進	● 活動場所となる施設や機会の整備
主な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ● 弁天池公園などにおいて市内中高生や市民による壁画アート制作を支援 ● 関西フィルハーモニー管弦楽団によるふるさと納税の返礼品の提供 ● ルミエールホールなど公共施設の各諸室を提供 ● KADOMA ART FESの実施(再掲) ● KADOMA ART FESのアート作品展示場所として市内空き店舗を活用 	

取組に対する評価を記載（作成中）



関西フィルハーモニー管弦楽団



ルミエールホール

柱3 市民の情報発信力強化によるシティプロモーションの推進

基本方針

- 個々の活動の発信力の充実
- 情報発信プラットフォームの構築
- シティプロモーションの推進
- 門真を代表するコンテンツの創出

主な取組

- イベント風景などの撮影が必要な団体に、撮影者を紹介
- ルミエールホールのホームページに、門真で活動するアーティストを紹介するページやかどまアーティストバンクのページを構築
- 関西フィルハーモニー管弦楽団と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を締結
- 門真市ふるさと大使の委嘱
 - ・ 関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者 藤岡 幸夫 氏(門真情熱大使) R6.1～
 - ・ 歌手 広瀬 香美 氏(門真の星大使) R6.1～
 - ・ 歌手 松岡 充 氏(門真の「街」大使) R7.4～
- 大阪・関西万博への出演

取組に対する評価を記載（作成中）



門真市民ミュージカル（大阪万博にて）



広瀬香美さんと関西フィルハーモニー管弦楽団との共演（大阪万博にて）

柱4 協働・共創の場と機会づくり

基本方針

- 文化芸術活動プラットフォームの形成
- 共有データベースやアーティストバンクの整備
- 市役所内部での理解の普及
- 事業者の文化芸術活動への参加促進

主な取組

- 市民有志等が参画する門真市文化芸術推進基本計画パイロットプロジェクト実行委員会の形成
- 職員向けに音楽サロン研修を実施
- 関西フィルハーモニー管弦楽団アンサンブルコンサートの実施
- ものづくり企業ネットワークへの関西フィルハーモニー管弦楽団のリハーサル公開を実施
- ルミエールホールのホームページに、門真で活動するアーティストを紹介するページやかどまアーティストバンクのページを構築(再掲)

取組に対する評価を記載（作成中）



みんなでつくる門真の第九



地域伝統文化まつり

パイロットプロジェクトのあゆみ

KADOMA ART FES 2021

令和3年12月1日～5日

古川橋、西三荘、大和田の3会場で4日間実施。各会場での作品展示の他に、まちかど・まちなかコンサートや、赤坂電気の壁面アート、マルシェ等を開催。



R3

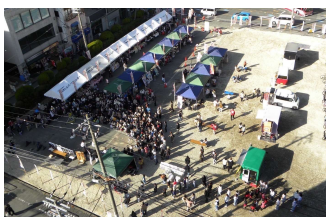
KADOMA ART FES 2022

令和4年11月25日～27日

検討会議の参加メンバーで実行委員会を設立。実施場所を大和田駅前に絞って開催。

実行委員会の公式HP開設や、イベント開催前に市内にのぼりを設置するなどして周知。

新たな取組として、アート作品のコンテストを実施。



R4



KADOMA ART FES 2023

令和5年11月25日～26日

令和4年に引き続き、大和田駅前周辺で2日間の開催。新たな取組として、コンテストの作品やイベントの様子をおさめた図録を作成。壁面アートは市内の高校生により、弁天池公園とリサイクルプラザで制作した。

また、古川橋イベントとして、令和6年1月20日・21日にコンテストの入賞作品の展示と表彰式をルミエールホールで開催した。

R5

R6



KADOMA ART FES 2024

令和6年11月30日～12月1日

壁面アートもスケールアップし、弁天池公園やそよう古川橋には市内の中高生が、KADOMADOの工事仮囲いには実行委員メンバーがライブペインティングを行った。

コンテストには117点の応募があり、新たな取組として、入賞したアーティストの個展を後日ルミエールで開催した。

3. 取り組むべき課題について

当初の計画で本市が取り組むべき3つの課題を設定しました。これらの課題は数年程度の短期間の取組ですぐに改善されるものではないため、今回の中間見直しにおいては当初の計画で設定した課題を踏襲します。ここではそれぞれの課題に対する現在の状況について記載します。

課題その1

魅力

当初の計画

これまでも文化芸術を活用した公民協働による取り組みを実施してきましたが、まだまだその活動に対する市民の認知度や理解は浅く、さらなる活動の周知の徹底と、誰もが参加・参画したくなるような魅力づくりが課題です。



中間見直し

KADOMA ART FESの実施や、関西フィルハーモニー管弦楽団との連携など、新たな文化芸術に関する取組を進めています。文化芸術に関するハードルを下げ、誰もが参加しやすい環境づくりを推進する必要がある。

課題その2

価値

当初の計画

誰もが平等・公平に文化芸術にふれられるようにと参加・入場無料としている取り組みがまだまだ多く「有料でも観たい」「作品を所有したい」「やってみたい」など、文化芸術の「価値」への理解向上と認知共有が課題です。



中間見直し

有料イベントになるとチケットの売れ行きが落ち込むといった状況は現在も変わりはありません。文化芸術活動に参加することによって、参加者間の交流機会の増加することや、参加者の居場所づくりにつながるなど、様々な切り口で文化芸術の価値の理解普及に努める必要があります。

課題その3

交流

当初の計画

文化芸術活動、特に伝統文化において担い手・人材の不足は深刻な課題であることは言うまでもなく、世代間での交流や活動場所の共有、SNSの活用など、若い世代へのアプローチを効果的に行っていくことが課題です。



中間見直し

市民アンケート調査結果では、10代以下において文化芸術に対する関心が低い状態であることがわかりました。既に実施している中学生音楽鑑賞会や若年層に対するアウトリーチなど幼少期から文化に触れる機会を拡充するとともに、長期的にはアートマネジメント人材(文化の作り手と受け手つなぐ役割を担う人材)の育成が必要である。

コラム掲載予定

(市民ミュージカルや関西フィルハーモニー管弦楽団などの活動紹介)

文化創造図書館 KADOMADO 令和8年5月にオープン

古川橋駅北側に図書館を中心に文化・学習活動と地域活性化を推進する施設「KADOMADO」が開館します。市民相互の出会いと交流を促進・創出し、地域コミュニティの活性化につながる場を目指します。



中央に置きな吹き抜けがあり、開放的で居心地のよい空間



親子で読書しながら過ごせる「こどもとしゃかん」



ロゴマークについて
学びの象徴である「本」が開き、集まる姿で建築の形状を表現することで、KADOMADOがまちに開かれ、知識や人々が集い交流する「門真の窓」であることを表現しています。

CRE ATI VE

第Ⅲ章 施策の展開

3

1. 計画の視点と体系

作 成 中

2. 基本方針

作 成 中

3. 具体的な施策の例

作 成 中

4. 計画の進行・管理

作 成 中

第Ⅲ章 資料編

4

1. 中間見直し過程

年 月 日	文化芸術推進審議会	庁内検討委員会	その他
令和7(2025)年			
6月6日		第1回庁内検討委員会	
6月13日	第1回門真市文化芸術 推進審議会		
6月20日～ 7月31日			市民アンケート調査
9月18日		第2回庁内検討委員会	
9月29日	第2回門真市文化芸術 推進審議会		
11月〇〇日		第3回庁内検討委員会	
11月〇〇日	第3回門真市文化芸術 推進審議会		
令和8(2026)年			
12月〇〇日 ～ 12月〇〇日			市民意見募集 (パブリックコメント)
12月〇〇日 ～			教育委員会への意見聴取
3月〇〇日		第4回庁内検討委員会	
3月〇〇日	第4回門真市文化芸術 推進審議会		

2. 審議会・庁内検討委員会名簿

門真市文化芸術推進審議会委員名簿

役 職	氏 名	所属等
委 員 長	清澤 悟	願得寺住職 元アートリーグ門真 代表世話役
副委員長	朝倉 洋	大阪国際大学短期大学 名誉教授 大阪国際学園 芸術文化教育センター長 大阪国際学園 吹奏楽総監督
委 員	中出 悦子	門真市音楽協会 音楽監督
	わかぎ ゑん	劇団リリパットアーミーⅡ座長
	川島 慶樹	大阪芸術大学短期大学部 デザイン美術学科 工芸・立体デザインコース 特任教授 彫刻家
	山下 里加	京都芸術大学 アートプロデュース学科 教授 アートジャーナリスト

門真市文化芸術推進基本計画庁内検討委員会委員名簿

役 職	氏 名	所属等
委 員 長	清水 順子	市民文化部生涯学習課
副委員長	中村 賢	市民文化部生涯学習課
委 員	岸 ケニー龍之介	企画課
	小西 紀至	魅力発信課
	黒木 修功	地域政策課
	森本 悠介	産業振興課
	辻本 貴大	障がい福祉課
	蔵元 謙介	こども政策課
	清水 義之	地域整備課
	上野 安宏	環境政策課
	玉田 一真	学校教育課

3. 諮問・答申書

諮問書

門市生第 468 号
令和 7 年 6 月 13 日

門真市文化芸術推進審議会
会長 清澤 悟 様

門真市長 宮本 一孝



門真市文化芸術推進基本計画について（諮問）

門真市文化芸術推進条例第 6 条第 4 項の規定に基づき、門真市文化芸術推進基本計画の改定に関し、貴審議会の意見を求めます。

写真
(会議風景など)

写真
(会議風景など)

答申書